# CineMate® 520

## home theater system

オーナーズガイド

# 安全上の留意項目

**このオーナーズガイドに記載された内容をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。**

正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。

正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを、お客様に注意喚起するものです。

**警告:**
- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、製品内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- 付属のリモコンの電池を交換する場合は、単三形(IEC LR06)アルカリ乾電池を使用してください。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。

**注意:**
- 許可なく製品を改造しないでください。安全性、法令の遵守、およびシステムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。
- 大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間にわたるヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。

**警告:**
のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

**警告:**
この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。

**注記:**
- 製品ラベルはコンソールの底面にあります。
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は室内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するようには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- 付属のケーブル類は、壁内や天井裏、床下等の隠ぺい配線用ではありません。隠ぺい配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。

CE Bose Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC and all other applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: www.Bose.com/compliance

# 安全上の留意項目

## 安全上重要な指示

1. このガイドをよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用し、ボーズ社の指示に従って行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源アダプターやコードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ずメーカーにより指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. サービスが必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源アダプターやコードの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

**注記:** This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules and Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

This device complies with FCC and Industry Canada RF radiation exposure limits set forth for general population. It must not be co-located or be operating in conjunction with any other antennas or transmitters.

The temperature range of this product is 32ºF (0ºC) to 113ºF (45ºC).

This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

# 安全上の留意項目

| Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | Toxic or Hazardous Substances and Elements | | | | | |
| Part Name | Lead (Pb) | Mercury (Hg) | Cadmium (Cd) | Hexavalent (CR(VI)) | Polybrominated Biphenyl (PBB) | Polybrominated diphenylether (PBDE) |
| PCBs | X | O | O | O | O | O |
| Metal parts | X | O | O | O | O | O |
| Plastic parts | O | O | O | O | O | O |
| Speakers | X | O | O | O | O | O |
| Cables | X | O | O | O | O | O |
| O: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11363-2006. | | | | | | |
| X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11363-2006. | | | | | | |

**控えとして、製品のシリアル番号を下の欄にご記入ください。**
シリアル番号は、Acoustimass®モジュールの端子盤とリモコンのケースに記載されています。

モジュールのシリアル番号:_____

リモコンのシリアル番号:_____

コンソールのシリアル番号:_____

購入日:_____

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はBlu-ray Disc Associationの商標です。

HDMIは、米国その他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

この製品はDolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。Dolbyおよびダブル D マークはDolby Laboratoriesの商標です。

この製品は、米国特許番号: 5,956,674、5,974,380、6,487,535、および取得済みまたは出願中の他の国際特許に基づき、ライセンスの下で製造されています。DTS、DTSのシンボル、およびDTSとDTSシンボルを組み合わせたロゴはDTS, Inc.の登録商標であり、DTSのロゴは同社の商標です。製品にはソフトウェアが含まれています。©2010 DTS, Inc. All Rights Reserved.

SoundTouchおよび音符と無線電波を組み合わせたデザインは、米国および他の国々におけるBose Corporationの商標です。

Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。

©2014 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

# 目次


## はじめに

CineMate® 520 home theater systemについて ..... 7
システムの特長 ..... 7
Bose SoundTouch™について ..... 7
内容物の確認 ..... 8
設置のためのガイド ..... 9
システムの設置例 ..... 9

## Acoustimass®モジュールのセットアップ

Acoustimassモジュールにゴム足を取り付ける ..... 10
Acoustimassモジュールを電源に接続する ..... 11

## スピーカーのセットアップ

フロントスピーカーを接続する ..... 12
リアスピーカーを接続する ..... 13
スピーカーを壁に取り付ける ..... 13

## コンソールのセットアップ

コンソールをテレビのHDMI ARC端子に接続する ..... 14
テレビにHDMI ARC端子がない場合 ..... 15
HDMIケーブル以外の接続が必要となる構成 ..... 15
コンソールを外部機器に接続する ..... 15
HDMI端子のない外部機器を接続する ..... 16
オーディオ機器を接続する場合 ..... 16
コンソールを電源に接続する ..... 16

## システムの起動

リモコンに電池を装着する ..... 17
システムの電源を入れる ..... 17

## セットアップの完了

サウンドを確認する ..... 18
コンソールの言語を変更する ..... 18
ADAPTiQ®自動音場補正システムを実行する ..... 19

# 目次

## システムの使用


リモコンについて ..... 20
ユニバーサルリモコンをプログラムする ..... 21
Consumer Electronics Control (CEC) 機能 ..... 21
HDMI 接続機器が CEC 機能に対応しているかどうか確認する ..... 22
リモコンで接続機器を操作できるように設定する ..... 23
外部機器の選択 ..... 24
Bose® システムに接続した機器を選択する ..... 24
テレビに接続した機器を選択する ..... 24
ユニバーサルリモコンの接続機器ボタンとコンソールの端子 ..... 24
音量の調節 ..... 25
機能ボタン ..... 25
他社製リモコンをプログラムする ..... 25


## ディスプレイに表示されるシステム情報の確認


ディスプレイのメッセージについて ..... 26
システムメニューを使用する ..... 26
エラーメッセージ ..... 28
Acoustimass モジュールのステータスインジケーター ..... 28


## お手入れについて


故障かな？と思ったら ..... 29
コンソールで Acoustimass® モジュールを検出できない ..... 30
システムを出荷時の設定にリセットする ..... 31
リモコンの接続機器ボタンをリセットする ..... 31
Acoustimass® モジュールのサービスコネクター ..... 31
お手入れについて ..... 32
お問い合わせ先 ..... 32
保証 ..... 32
仕様 ..... 32

# CineMate® 520 home theater systemについて

CineMate 520 systemは、コンパクトなボディから広がりのある5.1chサラウンドサウンドを再生できる、パフォーマンスに優れたスピーカーシステムです。

## システムの特長

- Boseの高度なオーディオ処理技術により、ライブ演奏のように自然なサウンドが再生されます。
- ADAPTiQ®自動音場補正システムが最適な音質に調整します。
- システム設定と情報を表示するディスプレイが搭載されています。
- HDMI™接続により簡単にセットアップでき、接続した機器から高音質のオーディオを再生できます。
- Consumer Electronics Control (CEC)機能に対応しています。
- テレビやCATV/BS/CSチューナーなど、接続機器を付属のユニバーサルリモコンで操作できます。
- ワイヤレス接続で置き場所を選ばないAcoustimass®モジュールが豊かな重低音を再生します。
- スピーカーは壁にもフロアスタンドにも設置できます(別売キットをご利用ください)。
- SoundTouch™ワイヤレスアダプター (別売)に対応しています。

## Bose SoundTouch™について

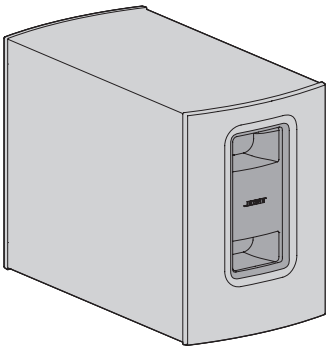
SoundTouch™ ワイヤレスアダプター (別売)を使用すると、インターネットラジオ、音楽サービス(一部の地域のみ)、コンピューターの音楽ライブラリなどをストリーミング再生できます。Wi-Fi®を使用している場合は、お気に入りの音楽を家の中のどの場所でもすぐに再生できます。

### 主な特長

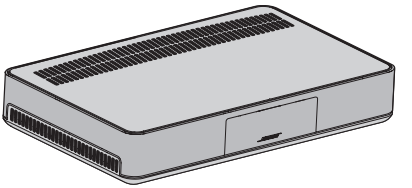
- インターネットラジオ、音楽サービス、コンピューターの音楽ライブラリなどをワイヤレスで利用できます。
- お気に入りの音楽を自由にプリセットして、簡単にストリーミング再生できます。
- 自宅のWi-Fi®ネットワークにすぐに接続できます。
- 無料のSoundTouch™ appをコンピューターやスマートフォン、タブレットなどにインストールすれば、操作がさらに便利になります。
- 外部機器をいつでも簡単に追加して、自宅のどの部屋でも再生できます。
- さまざまな種類のBoseオーディオシステムに対応しているので、再生環境に合わせた機器を選択できます。

## 内容物の確認

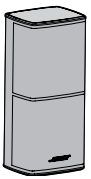
箱の中身を取り出して、下図の付属品がすべて同梱されていることを確認してください。



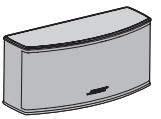
Acoustimass®モジュール



コンソール

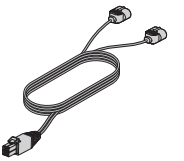


スピーカー (4本)

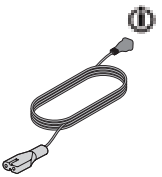


センタースピーカー

フロントスピーカー用ケーブル

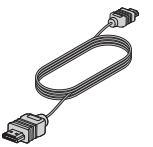


リアスピーカー用ケーブル

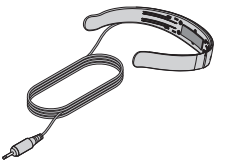


Acoustimassモジュール用電源コード

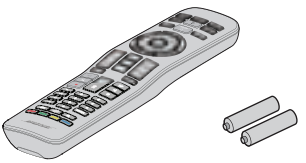
コンソール用電源コード



HDMIケーブル



ADAPTiQ®用ヘッドセット



ユニバーサルリモコン

ゴム足

電源コードはご使用の国に適したものが提供されています。

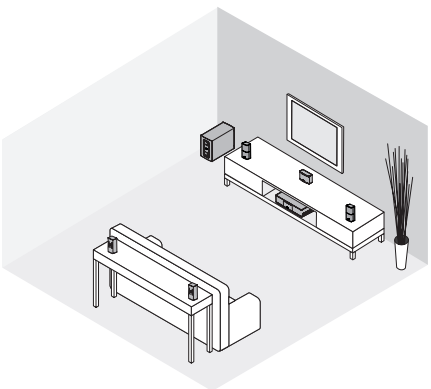
**注記:** 万一、開梱時に付属品の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はお止めください。

# 設置のためのガイド

ワイヤレス信号の干渉を回避するには、ほかのワイヤレス機器から離れた場所に設置します。金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。

| | |
|---|---|
| Acoustimass® モジュール | • Acoustimassモジュールにゴム足を取り付けて、テレビと同じ壁に沿って置くか、あるいは左右の壁沿いでテレビの近辺(テレビのある壁から見て部屋の3分の1以内の場所)に置きます。<br>• 安定した水平な面に設置してください。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でAcoustimassモジュールの位置がずれることがあります。<br>• 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。 |
| フロントスピーカー | • フロント左/右スピーカーを、テレビの両側に1台ずつ設置します。<br>• できるだけ、テレビ画面の端から1 m以内のところに設置することをおすすめします。<br>• 本棚のような囲まれた場所にスピーカーを置く場合は、棚の前面端に合わせて設置してください。 |
| センタースピーカー | • センタースピーカーは、テレビの中心線の真上または真下の安定した場所に水平に設置します。 |
| リアスピーカー | • リアスピーカーは、お部屋の後方、リスナーの後ろに設置します。可能であれば、座った時の耳の高さと同じか、それより高い位置に設置してください。 |
| コンソール | • コンソールはテレビに近い場所に設置します。テレビの上には設置しないでください。<br>• 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。 |
| SoundTouch™ ワイヤレスアダプター (別売) | • SoundTouch™ワイヤレスアダプターは、コンソールから30 cm ～ 1.8 m程度離れた場所に設置します。<br>• SoundTouch™ワイヤレスアダプターを使用する場合は、先にセットアップをお済ませください。詳細については、SoundTouch™ワイヤレスアダプターのオーナーズガイドをご覧ください。<br>**注記:** コンソールの電源コードは、SoundTouch™ appに指示が表示されるまでは接続しないでください。 |

## システムの設置例

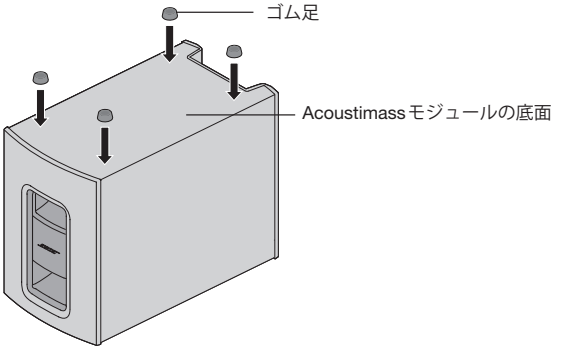


# Acoustimass®モジュールのセットアップ

## Acoustimassモジュールにゴム足を取り付ける

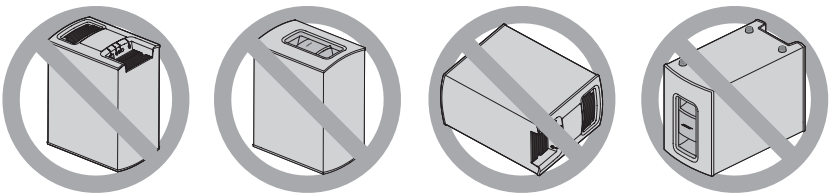
床を保護するため、Acoustimassモジュールにゴム足を取り付けます。

1. Acoustimassモジュールに傷が付かないように毛布などを敷き、その上にモジュールを上下逆にして置きます。
2. Acoustimassモジュールの底面にゴム足を取り付けます。




3. ゴム足を下にしてAcoustimassモジュールを置きます。

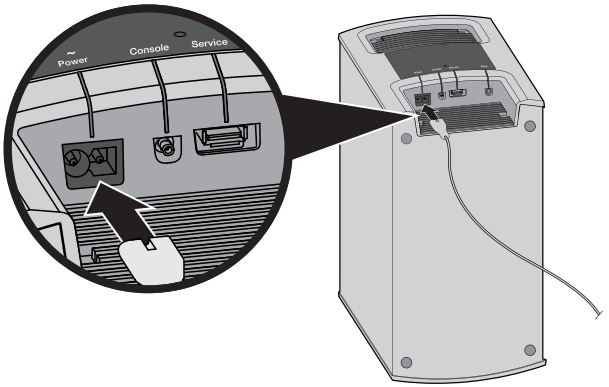
   **注意:** Acoustimassモジュールの前面や背面を底にした状態や、横倒し、または天地逆の状態で使用しないでください。



4. 保護フィルムをすべて剥がします。保護フィルムが残っていると、オーディオパフォーマンスが低下する原因となります。

## Acoustimassモジュールを電源に接続する

**1.** 電源コードをAcoustimassモジュールの Power 端子に接続します。

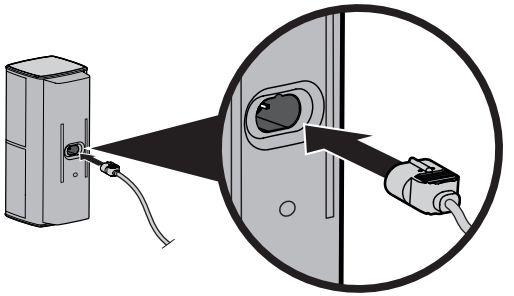



**2.** 電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込みます。

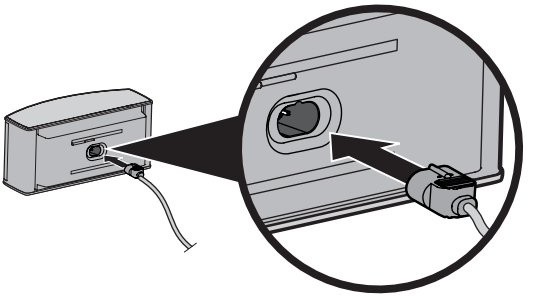
# スピーカーのセットアップ

## フロントスピーカーを接続する

**1.** フロントスピーカー用ケーブルの**L**プラグをL (左)側スピーカーに接続します。

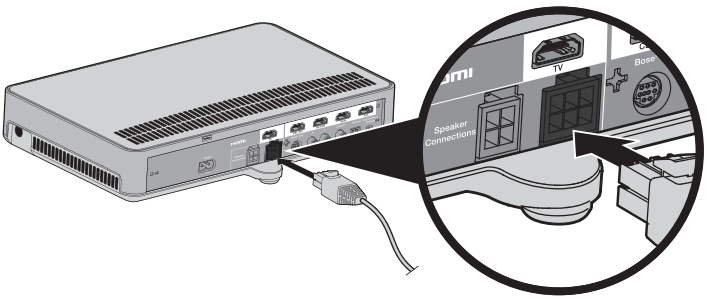


**2.** フロントスピーカー用ケーブルの**C**プラグをセンタースピーカーに接続します。



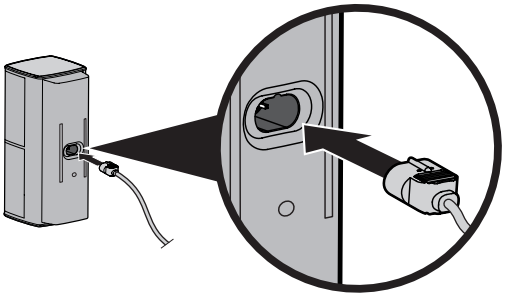
**3.** フロントスピーカー用ケーブルの**R**プラグをR (右)側スピーカーに接続します。

**4.** フロントスピーカー用ケーブルの反対側のプラグをコンソールの**Speaker Connections** 6ピン端子に接続します。

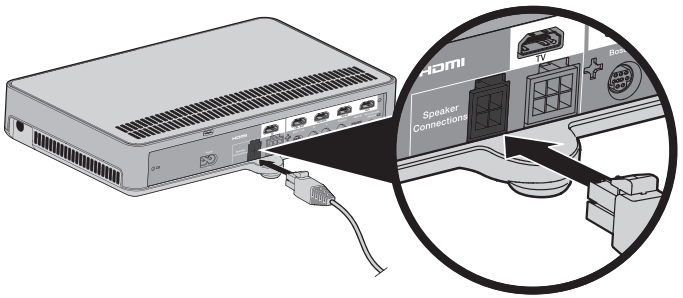


# リアスピーカーを接続する

1. リアスピーカー用ケーブルの**LR**プラグをL (左)側リアスピーカーに接続します。



2. リアスピーカー用ケーブルの**RR**プラグをR (右)側リアスピーカーに接続します。
3. リアスピーカー用ケーブルの反対側のプラグをコンソールの**Speaker Connections** 4ピン端子に接続します。




# スピーカーを壁に取り付ける

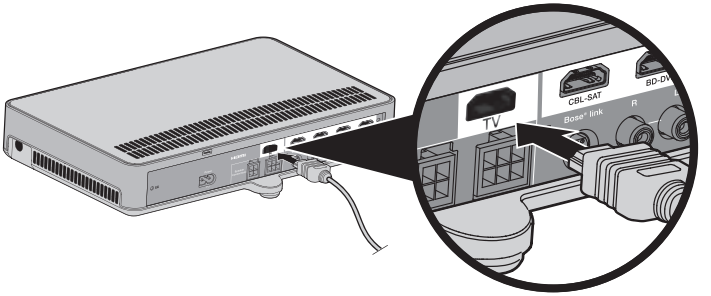
スピーカーは、壁掛けブラケット、フロアスタンド、またはテーブルスタンドにも設置できます。これらのアクセサリーにつきましては、お近くのボーズ製品販売店、または弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。なお弊社Webサイトにおきましても、各種アクセサリーをご紹介しております。

**注意:** 純正以外のアクセサリーを使用してスピーカーを設置しないでください。

## コンソールをテレビのHDMI ARC端子に接続する

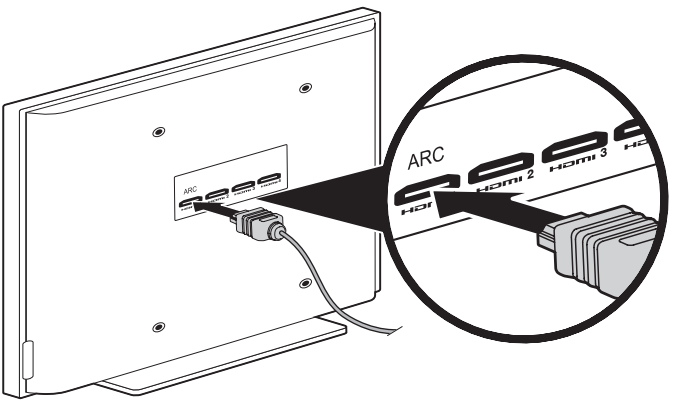
Bose® HDMIケーブルを使用して、コンソールをテレビに接続します。

1. CATV/BS/CSチューナー、DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー、ゲーム機など、HDMIケーブルでテレビに接続されている機器を外します。
2. Bose® HDMIケーブルのプラグをコンソールの**TV**端子に接続します。




3. HDMIケーブルの反対側のプラグをテレビの**HDMI**端子に接続します。

   **注記:** テレビと接続する場合は、**HDMI ARC** (または**Audio Return Channel**) 端子をご使用ください。HDMI ARC端子がない場合は、15ページをご覧ください。



# テレビにHDMI ARC端子がない場合

テレビにHDMI ARC端子がない場合は、HDMIケーブルのほかに、光ケーブル、同軸ケーブル、またはアナログステレオ音声ケーブルを使用してテレビとコンソールを接続します。これらのケーブルを使用して接続しないと、Bose®システムから音声が再生されません。

## HDMIケーブル以外の接続が必要となる構成

- 内蔵ソース(インターネットアプリケーションやOTAアンテナなど)を使用する場合
- テレビに外部機器を接続する場合

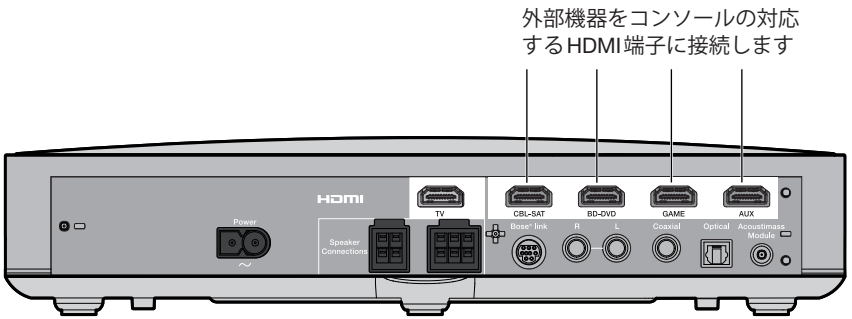
詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

**ヒント:** テレビに音声入力(IN)と音声出力(OUT)の両方の端子がある場合は、音声出力(**OUT**)端子を使用してください。

# コンソールを外部機器に接続する

HDMIケーブル(別売)を使用して、CATV/BS/CSチューナー、DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー、ゲーム機などをコンソールに接続できます。外部機器にHDMI端子がない場合は、別のAVケーブルをお使いください(16ページを参照)。

1. HDMIケーブルのプラグを外部機器のHDMI (OUT)端子に接続します。
2. HDMIケーブルの反対側のプラグをコンソールの対応するHDMI端子に接続します。たとえば、ゲーム機のHDMIケーブルは**GAME**端子に接続します。



# HDMI端子のない外部機器を接続する

外部機器にHDMI端子がない場合は、音声ケーブルと映像ケーブルを使用してテレビに接続します(ケーブルは別途ご用意ください)。詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

**ヒント:** 外部機器に音声入力(IN)と音声出力(OUT)の両方の端子がある場合は、音声出力(**OUT**)端子を使用してください。

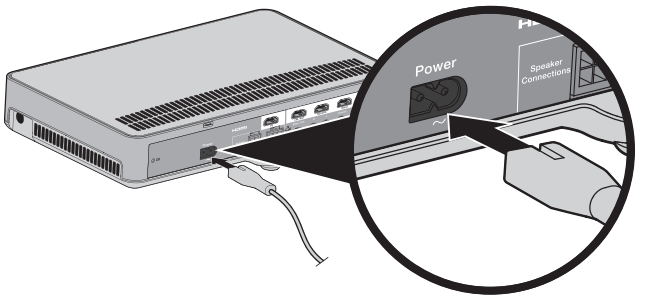
## オーディオ機器を接続する場合

メディアプレーヤーやCDプレーヤーなどのオーディオ機器にHDMI端子がない場合は、コンソールの光ケーブル端子、同軸ケーブル端子、またはアナログ端子に接続します。光ケーブル、同軸ケーブル、アナログ音声ケーブルなどは別途ご用意ください。

**注記:** オーディオ機器を接続したら、光入力、同軸入力、または音声入力を適切なソースに設定する必要があります。これらの設定はシステムメニューから行います(26ページを参照)。

# コンソールを電源に接続する

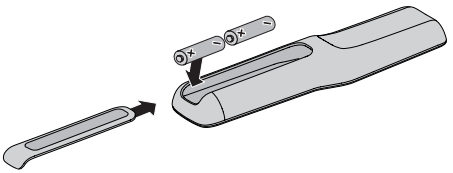
**1.** 電源コードをコンソールの**Power** ～ 端子に接続します。




**2.** 電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込みます。

## リモコンに電池を装着する

**1.** リモコンの裏側にある電池カバーをスライドして開きます。



**2.** 付属の単三形アルカリ乾電池2本を入れます。電池ケースに表示されている＋と－の向きと、乾電池の＋と－の向きを正しく合わせてください。

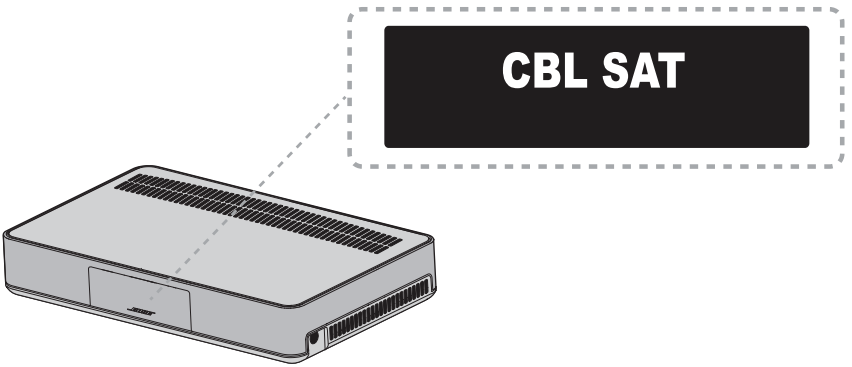
**3.** 電池カバーをスライドして元に戻します。

## システムの電源を入れる

リモコンの AUDIO ボタンを押します。

コンソールの電源がオンになります。

初めてコンソールの電源をオンにしたときは、ディスプレイに「**CBL SAT**」と表示されます。それ以降は最後に使用したソースが表示されます。




**注記:** システムを操作しないで16分間経過すると、システムの電源はオフになります。このオートオフ機能はシステムメニューで無効にできます(26ページを参照)。

# セットアップの完了

## サウンドを確認する

1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/BS/CSチューナーやその他の外部機器を使用する場合は、これらの機器の電源もオンにします。

   **ヒント:** 外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。必要に応じて別のリモコンをお使いください。
3. システムの電源をオンにします。
4. 該当する接続機器ボタンを押します。
5. Bose®スピーカーから音が聞こえるかどうかチェックします。

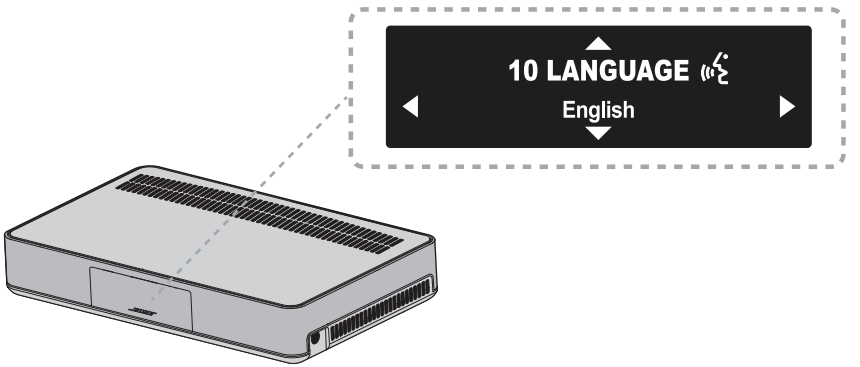
   **注記:** Boseスピーカーから音が聞こえない場合は、「故障かな？と思ったら」(29ページ)をご覧ください。
6. リモコンの 🔇 ボタンを押します。テレビから音が出ていないことを確認します。

   **注記:** テレビの内蔵スピーカーから音が聞こえている場合は、「故障かな？と思ったら」(29ページ)をご覧ください。

## コンソールの言語を変更する

リモコンを使用して、コンソールに表示される言語を変更します。

1. システムの電源をオンにします。
2. リモコンの SYSTEM ボタンを押します。
3. ▼ ボタンを押して、ディスプレイに「**10 LANGUAGE**」と表示させます。




4. ◀ ボタンと ▶ ボタンを押して、使用する言語を表示します。
5. EXIT を押します。

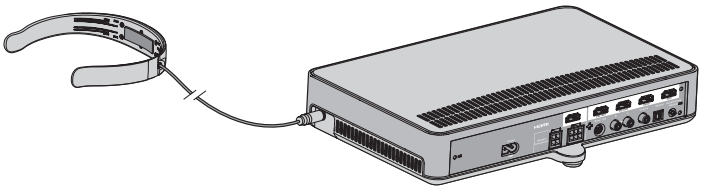
   **ヒント:** 違う言語を選択してしまった場合は、システムメニューで アイコンを探してください。

# ADAPTiQ®自動音場補正システムを実行する

ADAPTiQ自動音場補正システムは、システムが設置されている部屋の音響条件を5つの場所で測定し、それに合わせてシステムの音場を補正します。音場補正を実行するには、お部屋を10分ほど静かな状態に保つ必要があります。

1. ADAPTiQヘッドセットを装着します。

   ADAPTiQ自動音場補正システムでは、ヘッドセットに内蔵されたマイクでお部屋の音響条件を測定し、お部屋に最適な音質を決定します。



2. ADAPTiQヘッドセットのケーブルをコンソールの 端子に接続します。
3. リモコンの SYSTEM ボタンを押します。
4. ▼ ボタンを押して、ディスプレイに「**14 ADAPTiQ**」と表示させます。
5. OK を押します。
6. 音声の指示に従い、システムの処理を完了します。
7. ADAPTiQヘッドセットのプラグをコンソールから抜き、安全な場所に保管してください。

   **注記:** システムまたは家具を移動した場合は、ADAPTiQを再度実行して音質を調整してください。

# システムの使用

## リモコンについて

リモコンを使用して、システムに接続した外部機器の操作、システムの音量の調節、チャンネルの変更、再生機能の操作、CATV/BS/CSチューナーの機能の有効化、システムメニューの操作などを行うことができます。

外部機器の選択

テレビに接続した機器を選択します

ナビゲーションパッド

ビデオに録画されている番組を一覧表示します

システムメニュー

テレビの縦横比

字幕表示

SoundTouch™(別売)と 端子を切り替えます

Bose®システムの電源をオン/オフします

選択した機器の電源をオン/オフします

インターネットテレビのホームページを表示します

前のチャンネル/チャプター/トラックに移動します

再生コントロール部

文字多重放送(ヨーロッパ)

機能ボタン
(25ページを参照)

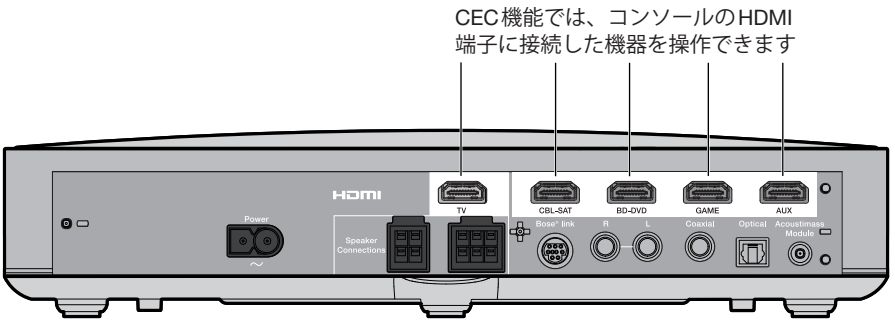
# ユニバーサルリモコンをプログラムする

ユニバーサルリモコンを設定して、テレビ、CATV/BS/CSチューナー、DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー、ゲーム機、ビデオデッキなどの外部機器を操作できます。

## Consumer Electronics Control (CEC)機能

システムはConsumer Electronics Control (CEC)機能に対応しています。CEC機能を使用すると、リモコンをプログラムしなくても、HDMIケーブルで接続した複数の機器を操作できます。CEC機能はシステムメニューで無効にできます(26ページを参照)。

機器がCEC機能に対応している場合でも、メーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください。




**ヒント:** CEC機能は機器のシステムメニューで有効にする必要があります。詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください。

# システムの使用

## HDMI接続機器がCEC機能に対応しているかどうか確認する

リモコンを使用して、各機器がCEC機能に対応しているかテストします。

**注記:** HDMI接続機器の中にはCEC機能に対応していないものもあります。詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください。

1. Bose®システムの電源をオフにします。
2. 接続機器を準備します。
   - テレビをテストする場合は、テレビの電源をオフにします。
   - 別の機器をテストする場合は、その機器の電源をオフにします。テレビの電源をオンにします。
3. テストする接続機器に対応する「接続機器ボタン(TV、CBL/SATなど)」を押します。

   接続機器ボタンが点灯します。接続機器とシステムの電源がオンになります。
4. 接続機器をリモコンで正しく操作できるかどうか確認するため、機器の機能に対応する各種ボタンを押します。

   機器のいずれかの機能を操作できない場合は、リモコンをプログラムします(23ページを参照)。

## リモコンで接続機器を操作できるように設定する

接続機器がCEC機能に対応していない場合は、機器を操作できるようにリモコンを設定できます。

**注記:** 一部の機器はユニバーサルリモコンに対応していない場合があります。詳細については、機器の取扱説明書をご覧ください。

1. 接続機器の電源をオンにします。
2. 付属の『ユニバーサルリモコン設定コード表』に、接続機器のメーカー名が記載されているか確認します。
3. リモコンの該当する接続機器ボタンを長押しして、6つの接続機器ボタンが点灯したら指を放します。
   たとえば、テレビを操作できるようにプログラムする場合は、TV ボタンを長押しします。

   該当する接続機器ボタンのみが点灯します。
4. 数字キーパッドを使って、機器のメーカーの設定コードを入力します。

   **注記:** 6つのボタンが3回点滅したら、入力したコードは間違っています。手順3と4をやり直してください。
5. 音量＋ボタンを押します。
6. 接続機器の基本機能をテストします。
   - **テレビ**: チャンネルボタンを押します。MENU を押します。設定メニューが表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **CATV/BS/CSチューナー**: GUIDE ボタンを押します。番組表が表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **DVD/Blu-ray Disc™プレーヤー**: GUIDE ボタンを押します。設定メニューが表示されます。◀ ボタンと ▶ ボタンを押して操作します。
   - **ゲーム機**: ◀ ボタンと ▶ ボタンを押してメニューを操作します。
7. 接続機器の基本機能を操作できる場合は、EXIT ボタンを押して設定を保存します。

### 接続機器を操作できない場合

接続機器の複数ある設定コードを順番に試していくコードスキャナーを使用します。

1. 次のコードを試すには、音量＋ボタンを押します。

   **注記:** 機器のコードをすべて試し終わったら、6つのボタンが3回点滅します。
2. 接続機器の基本機能をテストします(「リモコンで接続機器を操作できるように設定する」の手順6を参照)。
3. 接続機器を操作できるようになるまで、手順1と2を繰り返します。
4. EXIT ボタンを押して設定を保存します。

# 外部機器の選択

操作の対象となる機器を切り替えるには、リモコンの接続機器ボタンのうち該当するものを押します。操作を始める前に、接続機器を操作できるようにリモコンを設定します(23ページを参照)。

## Bose®システムに接続した機器を選択する

機器がコンソールに接続され、CEC機能を使用していない場合は、次の手順に従ってコンソールを適切なモードに設定し、接続機器の電源をオンにします。

1. システムの電源をオンにします。
2. 操作したい接続機器に対応する「接続機器ボタン(TV、CBL/SATなど)」を押します。

   接続機器ボタンが点灯します。
3. Source ⏻ を押します。

   接続機器の電源がオンになります。

## テレビに接続した機器を選択する

外部機器をテレビに接続している場合は、次の手順に従って適切なテレビ入力を選択します。

1. システム、テレビ、外部機器の電源をオンにします。
2. TV Input ボタンを押して、適切なテレビ入力を選択します。

   接続機器用の入力を選択するには、TV Input ボタンを何回か押す必要がある場合もあります。

   一部のテレビでは、TV Input ボタンを押すとメニューが表示されます。リモコンを使用して適切なテレビ入力を選択し、このメニューを閉じます。

# ユニバーサルリモコンの接続機器ボタンとコンソールの端子

リモコンの接続機器ボタンは、コンソールの背面にある端子に対応しています。たとえば、BD-DVD ボタンは**BD-DVD** HDMI端子に対応しています。

接続機器ボタンを押すと、対応する端子に接続されている任意の機器を操作できます。2台目のDVD/Blu-ray Disc™プレーヤーを**CBL-SAT**端子に接続している場合、プレーヤーを CBL-SAT ボタンで操作できます。

光ケーブル、同軸ケーブル、アナログ音声ケーブルの接続を使用している場合は、該当する接続機器の入力に設定する必要があります。これらの設定はシステムメニューから行います(26ページを参照)。

## 音量の調節

リモコンで次のように操作します。

- ＋ボタンを押すと、音量が段階的に上がります。
- －ボタンを押すと、音量が段階的に下がります。
- 🔇 ボタンを押すと、音声がミュート(一時消音)またはミュート解除されます。

**注記:** テレビのスピーカーから音が聞こえている場合は、「故障かな？と思ったら」(29ページ)をご覧ください。

## 機能ボタン

リモコンの赤、緑、黄、青の各ボタンは、CATV/BS/CSチューナーや文字多重放送のカラーボタンの機能に対応しています。

- CATV/BS/CSチューナーの機能については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 文字多重放送では、画面のページ番号、見出し、ショートカットなど、カラーボタンで操作できる機能に対応しています。
- テレビからAAC+1音声が供給された場合、リモコンの緑ボタンを5秒間長押しするたびに主音声、副音声、主＋副音声に切り替わります。

## 他社製リモコンをプログラムする

CATV/BS/CSチューナーのリモコンなど、Boseリモコン以外のリモコンをプログラムしてシステムを操作できます。手順については、リモコンの取扱説明書や、ケーブルテレビや衛星放送のWebサイトをご覧ください。

プログラムが完了すると、電源のオン/オフや音量の調節など、基本的な機能を他社製リモコンで操作できるようになります。

# ディスプレイに表示されるシステム情報の確認

## ディスプレイのメッセージについて

コンソール前面のディスプレイはシステムメニューを操作する際に使用するもので、システム情報とアイコンが表示されます。

### システムメニューを使用する

システムメニューを使用して、音量レベルの調節、オートオフ機能などの機能のオン/オフ、表示言語の変更、特定機器の同軸/アナログ/光入力の設定、ADAPTiQ®の実行、Acoustimass®モジュールとコンソールのペアリング、システムの出荷時設定へのリセットなどを実行できます。

1. リモコンの SYSTEM ボタンを押します。
2. ▲ボタンと▼ボタンを押して、システムメニューをスクロールします。
3. ◀ボタンと▶ボタンを押して、設定を調整します。
4. EXIT を押します。

| ディスプレイ | システムの状態 |
|---|---|
| **1 AUDIO COMP** | **Off**: (デフォルト)音声モードの調整を行いません。<br>**Enhance dialogue (台詞の強調)**: 音量が低く設定されている場合は、台詞の音量を相対的に高くし、音量が高く設定されている場合は、音声全体をそのまま再生します。<br>**Smart volume (スマートボリューム)**: 映画の中で音が非常に大きなシーンと静かなシーンの音量差が少なくなるように、自動的に調整します(深夜など、音量設定を小さくした状態で映画鑑賞をしたい場合に便利です)。 |
| **2 AUDIO/VIDEO SYNC** | 音声の聞こえるタイミングを調整し、映像の動きと音声を合わせます。 |
| **3 HDMI-CEC** | **On**: (デフォルト) CEC機能を有効にします(21ページを参照)。<br>**Off**: CEC機能を無効にします。 |
| **4 AUTO OFF** | **Enable (有効):** (デフォルト) システムを操作しないで(システムから音声が再生されないで) 16分間経過すると、システムの電源がオフになります。<br>**Disable (無効)**: システムの電源を自動的にオフにしません。 |
| **5 SIDE AUX** | **Audio in (外部入力)**: (デフォルト) 端子を外部機器用に設定します。<br>**Headphones (ヘッドホン)**: 端子をヘッドホン用に設定します。<br>**注記:** ヘッドホン用に設定した端子にケーブルを接続すると、スピーカーがミュートされます。 使用しない場合はヘッドホンを外してください。 |
| **6 BASS LEVEL** | 低音部の補正を行います. |

# ディスプレイに表示されるシステム情報の確認

| ディスプレイ | システムの状態 |
|---|---|
| **7 TREBLE LEVEL** | 高音部の補正を行います. |
| **8 CENTER LEVEL** | 映画やテレビ番組の台詞の音量を上げたり下げたりします。 |
| **9 SURROUND LEVEL** | リアスピーカーの音量バランスを、フロントスピーカーとの対比で調整します。 |
| **10 LANGUAGE** | コンソールとADAPTiQ®で使用する言語を変更します。 |
| **11 SET OPTICAL INPUT** | 光ケーブル端子に接続された機器を自動/TV (デフォルト)、CBL SAT、BD DVD、GAME、またはAUXのいずれかに設定します。 |
| **12 SET COAXIAL INPUT** | 同軸ケーブル端子に接続された機器を自動/TV (デフォルト)、CBL SAT、BD DVD、GAME、またはAUXのいずれかに設定します。 |
| **13 SET ANALOG INPUT** | アナログ端子に接続された機器を自動/TV (デフォルト)、CBL SAT、BD DVD、GAME、またはAUXのいずれかに設定します。 |
| **14 ADAPTIQ** | ADAPTiQによる音場補正を開始します。 |
| **15 PAIR ACOUSTIMASS** | Acoustimass®モジュールをシステムに接続し直します。 |
| **16 FACTORY RESET** | システムメニューとADAPTiQを出荷時の設定に戻します。 |

# ディスプレイに表示されるシステム情報の確認

## エラーメッセージ

| ディスプレイ | システムの状態 |
|---|---|
| **ERROR**<br>**Cannot find Acoustimass** | Acoustimass®モジュールがコンソールに接続されていません。 |
| **<接続機器名>**<br>**No signal** | 機器がコンソールに接続されていないか、コンソールに接続されている機器の電源がオフになっています。 |
| **SIDE AUX**<br>**Nothing connected** | コンソールの 端子に機器が接続されていません。 |
| **ERROR**<br>**Call Bose** | カスタマーサービスへお問い合わせください。連絡先については、日本語オーナーズガイドの「お問い合わせ先」をご覧ください。 |

# Acoustimassモジュールのステータスインジケーター

Acoustimassモジュールの背面にあるステータスインジケーターには、システムの動作状態が表示されます。

| インジケーターの表示 | Acoustimassモジュールの状態 |
|---|---|
| オレンジ | コンソールに接続されています。 |
| オレンジの点滅 | コンソールへの接続が解除されています。 |
| オレンジの遅い点滅 | コンソールへのワイヤレス接続を行える状態にあります。 |
| 赤 | システムエラーです。 |

# 故障かな？と思ったら

| トラブル | 対処方法 |
|---|---|
| 電源が入らない | • Acoustimass®モジュールとコンソールの電源コードをしっかりと接続します。<br>• Acoustimassモジュールとコンソールの電源コードを電源コンセントに接続し直します。<br>• リモコンを使用してシステムの電源をオンにします。<br>• システムを出荷時の設定にリセットします(31ページを参照)。 |
| 音が出ない | • システムのミュートを解除します。<br>• 音量を上げます。<br>• Acoustimassモジュールとコンソールを通電している電源コンセントに接続します。<br>• HDMIケーブルをテレビの**ARC**または**Audio Return Channel**と表示されている端子に接続します。テレビにHDMI ARC端子がない場合は、HDMIケーブルのほかに音声ケーブルを使用します(15ページを参照)。<br>• 追加の音声ケーブルを使用する場合は、テレビの音声出力(**Output**または**OUT**)端子に接続します。音声入力(InputまたはIN)端子には接続しないでください。<br>• スピーカー、テレビ、接続機器のケーブルをしっかりと接続します。<br>• 外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します(24ページを参照)。<br>• 使用しない場合はヘッドホンを外します。<br>• 端子に機器を接続している場合は、システムメニューで**Audio in**を有効にします(26ページを参照)。<br>• 端子にヘッドホンを接続している場合は、システムメニューで**Headphones**を有効にします(26ページを参照)。<br>• エラーメッセージ「**Cannot find Acoustimass**」が表示された場合は、Acoustimassモジュールとコンソールをペアリングします(30ページを参照)。<br>• システムを出荷時の設定にリセットします(31ページを参照)。 |
| テレビから音が出る | • HDMIケーブルをテレビの**ARC**または**Audio Return Channel**と表示されている端子に接続します(使用できる場合)。<br>• テレビの内蔵スピーカーをオフにします(テレビの取扱説明書を参照)。<br>• テレビの音量を最小に設定します。 |

# お手入れについて

| トラブル | 対処方法 |
|---|---|
| リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない | • 電池ケースに表示されている＋と－の向きと、乾電池の＋と－の向きを正しく合わせてください(17ページを参照)。<br>• 電池を交換します(17ページを参照)。<br>• リモコンの音量ボタンを押して、正しい接続機器ボタンが点滅するかどうか確認します。<br>• CEC機能を使用している場合:<br>- リモコンをコンソールに向けます。<br>- リモコンで接続機器を操作できるように設定します(23ページを参照)。<br>• リモコンで接続機器を操作できるように設定している場合:<br>- リモコンを操作する接続機器に向けます。<br>- 機器のメーカーの設定コードを正しく入力したことを確認します。<br>- リモコンに別のコードを入力してプログラムします(23ページを参照)。 |
| 音質が良くない、音が歪む | • システムから保護フィルムをすべて剥がします。<br>• スピーカー、テレビ、接続機器のケーブルをしっかりと接続します。<br>• エラーメッセージ「**Cannot find Acoustimass**」が表示された場合:<br>- Acoustimass®モジュールを電源に接続します。<br>- Acoustimassモジュールとコンソールをペアリングします(「コンソールでAcoustimass®モジュールを検出できない」を参照)。<br>• アナログ端子または 🎧 端子を使用している場合は、接続機器の音量を下げます。<br>• システムを出荷時の設定にリセットして(31ページを参照)、ADAPTiQ®自動音場補正システムを実行します(19ページを参照)。 |
| 音が途切れる | • スピーカー、テレビ、接続機器のケーブルをしっかりと接続します。<br>• 無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど、干渉が発生する可能性のある機器からシステムを離します。 |

## コンソールでAcoustimass®モジュールを検出できない

Acoustimassモジュールとコンソールは、工場出荷時にペアリングが済まされています。ただし、ディスプレイにエラーメッセージ「**Cannot find Acoustimass**」が表示される場合は、次のペアリング手順を実行します。

1. Acoustimassモジュールの電源を抜きます。
2. リモコンの SYSTEM ボタンを押します。
3. ▼ ボタンを押して、ディスプレイに「**15 PAIR ACOUSTIMASS**」と表示させます。
4. OK ボタンを押します。
   **Plug in Acoustimass** とディスプレイに表示されます。
5. 電源コードのプラグを壁のコンセントに差し込みます。
   Acoustimassモジュールがコンソールに接続されると、ディスプレイに「**Pairing complete**」と表示されます。

## システムを出荷時の設定にリセットする

問題を解決するために、システムメニューとADAPTiQ®を出荷時の設定に戻します。

1. リモコンの SYSTEM ボタンを押します。
2. ▼ ボタンを押して、ディスプレイに「**16 FACTORY RESET**」と表示させます。
3. [**5**]ボタンを押します。
   システムがリセットされます。
4. ADAPTiQ自動音場補正システムを実行します(19ページを参照)。

## リモコンの接続機器ボタンをリセットする

リモコンの接続機器ボタンに問題がある場合は、接続機器ボタンを出荷時の設定にリセットします。

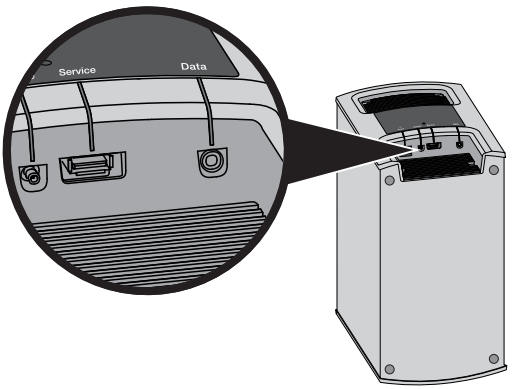
この手順を実行すると、接続機器ボタンはCEC機能モードに設定されます。

1. リモコンの該当する接続機器ボタンを長押しして、6つの接続機器ボタンが点灯したら指を放します。

   該当する接続機器ボタンのみが点灯します。
2. 数字キーパッドを使って、「**0140**」と入力します。

## Acoustimass®モジュールのサービスコネクター

サービスおよびデータコネクターはサービス専用です。これらのコネクターにケーブルを接続しないでください。



# お手入れについて

- システムの外装は柔らかい布でから拭きしてください。
- システムの近くでスプレーを使用しないでください。溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に液体が入らないようにしてください。

# お問い合わせ先

**故障、修理、製品等のお問い合わせ先**

ボーズ株式会社　カスタマーサービス
お客様専用ナビダイヤル　0570-080-021

**修理品のお送り先**

ボーズ株式会社　サービスセンター
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル
※修理品をご送付いただく際の電話番号は、上記ナビダイヤルをご記入ください

# 保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。製品のご登録をお願いいたします。登録は、http://global.Bose.com/registerから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

# 仕様

**Acoustimass®モジュール**
電源定格: 100-240V ∿ 50/60 Hz 150W

**コンソール**
電源定格: 100-240V ∿ 50/60 Hz 60W

# お手入れについて

©2014 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM715116 Rev. 00